



明治小



駒寄小

小学生に「いかのおすし」鉛筆を寄贈

6月13日㊦、町防犯委員会と町交番は明治小・駒寄小を訪れ、子どもの防犯意識を呼びかける「いかのおすし」鉛筆とクリアファイルを寄贈しました。

いかのおすしとは、「ついていかない、のらない、おごえをだす、すぐにげる、しらせる」の語呂合わせで、連れ去りなどの事件から身を守るための標語です。



花で学校をきれいに

6月13日㊦、駒寄小の緑化委員がプランターに花を植えました。町や学校を花で明るくしたいと、ホームセンターを展開する株式会社コメリとNPO法人にぎわいのまち吉岡が共同でラベンダーなどの苗やプランターを提供しました。



自衛官募集相談員に松岡さん

町内の自衛官採用に関する情報提供や自衛官募集に関する広報事務などを行う自衛官募集相談員に、松岡寿治さんが委嘱されました。任期は6月27日から2年間です。



漆原ほたる祭り

6月15日㊧、道の駅よしおが温泉で12回目のほたる祭りが行われました。雨天にもかかわらず、多くの人が模擬店やさまざまな催しを楽しみました。

ALTミシェルの徒然日記

Michelle's View

theme テーマ “ヒルと戦えー妙義山に登りました”
“Battling Leeches Climbing Mt. Myogi!”

この間、妙義山に行きました。妙義山は、榛名山・赤城山とともに群馬県の有名な山のひとつですね。群馬に来た時からずっと行ってみたかったのですが、なかなかいい機会がなかったんです。今回友達が誘ってくれたので、行ってきました。早起きをして、車で妙義神社まで行きました。神社の長くて高い階段を登って、中級者向けのコースを歩き始めました。その日は、小雨がずっと止まなかったけれど、涼しくてとても気持ちよかったです。妙義神社から中之嶽神社までは3時間半くらいかかりました。小雨だったから、ほかのハイカーはほとんどいなかったのに、静かな道のりではありませんでした。なぜなら、途中で“ヒル”がいっぱいいることに気づいたからです。しかも、3回も噛まれたんです。ヒルを見たのが初めてだったので、とてもびっくりして、歩いている途中は「ヒルから逃げなきゃ」としか思いませんでした。中之嶽神社に着いて、大黒天の大きな像を見ました。そこで、ALTをしているという人と偶然知り合って、お昼ご飯を一緒に食べた後、妙義神社まで車に乗せていってもらいました。ヒル以外は、妙義山を楽しみました。ヒルがない季節にまた行きたいと思います。そして、榛名山と赤城山にも登ってみたいです。





白玉に混ぜていたのは人参とかぼちゃ
3種類の白玉や果物をシロップと盛りつけます



白玉づくりを教えてくれた食生活改善推進員の皆さん



児童館おやつ作り 「野菜のかくれんぼ白玉」

6月11日㊤、児童館で15組の親子が食生活改善推進員の皆さんと「野菜のかくれんぼ白玉」を作りました。さっぱりとした味が暑い夏にピッタリでおいしいと親子ともに好評でした。白玉に混ぜられている野菜を当てるクイズもして、親子でとても楽しい時間を過ごせました。



指揮者 原沢 貴之
1番員 武藤 駿樹
2番員 今井 雅也
3番員 沼田 智樹
4番員 大林 平
補助員 生方 健寛
第5分団(3位)

ポンプ操法競技会

6月16日㊤、ポンプ操法技術(安全性・正確性・迅速性)を競う競技会に、吉岡町消防団の第1分団・第5分団が出場しました。競技会に向けた日々の訓練の成果を存分に発揮し、渋川広域市町村内の8チームのうち、第5分団が3位入賞、第1分団が4位入賞と見事な成績を収めました。さらに、第1分団3番員が番員賞を獲得しました。



指揮者 布施川政弘
1番員 佐藤 文隆
2番員 篠原 正樹
3番員 善養寺将大
4番員 工藤 拓紀
補助員 岡 良明
第1分団(4位)



番員賞を受賞した善養寺将大

森田家住宅 町重要文化財に指定

江戸時代に伊香保街道沿いの宿場として栄えた野田宿の中心に位置し、本陣であった「森田家住宅」が、野田宿の歴史を語るうえで欠かせない屋敷構え・建築を残しているとして、町の重要文化財に指定されました。指定されたのは、敷地内の築300年前後とみられる主屋、県内屈指の書院、全長27mの長屋門の3カ所です。



14代当主の森田均さん(中央)



右奥の主屋は江戸中期以降に建てられたものとみられている。左手前の書院は県内屈指の規模で、江戸後期に建てられたもの



2代目として大正期に建てられた長屋門。旧長屋門は道路を隔てた向かい側の敷地に移築されている